

村上 常雄 議員



(一括質問方式)

- ①長浜港内港埋立事業について
- ②富士橋の撤去に伴う柚木・如法寺地区への対応について
- ③コミュニティセンターでの活動状況について
- ④中学校部活動の地域移行について

長浜港内港埋立事業パブリックコメントの意見への対応について

**問** パブリックコメントで、環境への影響と多額の事業費を心配する意見があった。その点について伺いたい。

**答** 環境への影響については、埋立免許の出願に際し、環境保全への措置を記載した図書を作成します。これは、環境影響調査を踏まえて決定した環境保全措置を記載するもので、埋立に関する工事に伴う影響、埋立地そのものが及ぼす影響、埋立地の利用・供用が及ぼす影響について調査を行い、それぞれの影響に対する環境保全措置について記載するとともに、瀬戸内海環境保全特別措置法の規定の運用に関する基本方針に照らし合わせて検討した内容についても記載することとされています。

今回の埋立は、岸壁と防波堤に挟まれた内港部分の埋立になりますが、埋立免許権者である愛媛県の指示、指導に基づき、埋立免許が取得できるよう、定められた条件に合う対策を講じていきたいと考えています。

埋立造成事業と施設整備事業を合わせた全体事業費は92億8,000万円、そのうち市の実質負担額は20億4,000万円で、計画期間である18年で割りますと、単年の負担額は約1億1,300万円と試算しています。

遊覧道路について

**問** 如法寺地区から富士山登山口、脇川橋へとつながる国道197号、通称「遊覧道路」の進捗状況について伺いたい。

**答** 如法寺地区では、激特事業による堤防整備により、対岸の柚木地区へ向かう富士橋を含む市道が廃

止されました。この対策の一環として、国道197号を管理する愛媛県において、富士山登山口から新富士橋の区間の道路整備を実施することとなっています。

進捗状況について愛媛県に確認したところ、「道路の測量設計は既に完了し、旧帝京富士中学・高等学校グラウンドなどの箇所の道路拡幅については、工事着手に向け国と協議を進めており、協議が整い次第着手する予定である。また、残る区間についても、離合のための待避所整備について検討を行っている」とのことです。

市としては、整備にあたり課題もありますが、関係機関と協議連携を図りながら整備促進に努めていきたいと考えています。

中学校部活動の地域移行について

**問** 令和5年度の実証事業の取組状況と、その中で出た課題の解消に向けてどのように取り組んでいるのか伺いたい。

**答** 令和5年度は、軟式野球とカヌーを部活動の地域移行モデルとして実証事業に取り組みました。

軟式野球クラブは、部員が少ない3つの中学校で、休日における合同練習を大洲球場をメイン会場にして合計10回、参加生徒数延べ80人で活動しました。なお、指導については、当該校の希望する教員2名が兼職兼業の許可を得たうえで行いました。

また、カヌークラブは、大洲カヌークラブの指導や大洲高校カヌー一部にも協力いただき、合計25回、参加生徒数延べ36人で活動しています。

なお、参加者の年会費として、両クラブとも1人当たり1,000円とスポーツ安全保険の800円を負担いただき、また指導者謝金については1時間当たり1,600円に設定し、運営しています。

実証事業を通して明らかになった課題は、指導者の確保が容易でないことや、保護者にとって送迎や経済的負担が増えたことなどが上げられます。これらの課題解消に向けては、スポーツ関係者や学校関係者などで組織された地域部活動推進事業検討班会や大洲市地域部活動推進協議会において、地域クラブ活動を支える人材発掘や保護者の負担金額の設定などについて、さらに議論を深めていきたいと考えています。